

平成19年度 玉川こども文化センターの管理運営に対する評価について

1 指定管理者

(1) 指定管理者	財団法人かわさき市民活動センター
(2) 指定期間	平成18年4月1日～平成23年3月31日
(3) 業務の範囲	玉川こども文化センターの管理運営に関すること 玉川小学校・下沼部小学校わくわくプラザの管理運営に関すること

2 管理運営（事業執行）に対する評価

評価項目	平成19年度管理運営の状況	評価及び指導
(1) 管理業務の実施状況		
施設の運営に関する職員体制に関すること	①人的能力の充実を図るため職員の児童厚生員資格取得を進めると共に、新規採用職員は業務に関する資格取得者から選考しました。②本部の職員体制については管理係長1名、区運営担当主査を3名配置して各館との連携強化を図りました。	職員の業務に関する資格の取得を進めたこと、また本部職員の充実によりかわさき市民活動センターが管理運営している他のこども文化センターとの連携を図ったことは評価できる。職員の研修については、スケールメリットを生かし、大規模な研修を実施し、また、指定管理施設の各区、施設単位での研修も実施することにより職員のスキルアップを図っていたことは評価できる。今後もこども文化センター及びわくわくプラザの職員配置が適切に行われるよう努めること。
施設の管理運営に対するニーズ等の把握に関すること	利用者のニーズの把握と運営への反映について①来館中高生対象に行事参画アンケートの実施。②こども文化センター・わくわく共利用者からの意見受入のための意見箱を設置しました。③子ども会議はこども文化センターでは行事と並行で異年齢の声を聞き次の行事に反映させました。わくわくは毎月・毎日の会を開催をしました。④利用団体は運営協議会を交えて利用の仕方を年2回話し合いました。わくわくは学期ごと保護者懇談会、子育て支援・わくわくプラザ事業説明会1回を開催しました。⑤中学校とは日々行き来し、情報交換をしました。わくわくでは職員室に出向きお互いの情報を交換し合いました。	継続的に利用者や地域住民からの意見・要望等を聞きニーズの把握に努めていたことは評価できる。意見箱の活用等により積極的にニーズの把握に努めていたことは評価できる。

サービスの提供に関するこ と	行事運営はこども文化センター・わくわくプラザ共おたよりに依り実行できた。参加費の掛からない運営方法で映画会やドッジボール大会、又、乳幼児用おたよりに依り子育て中のママさん対象のベビーマッサージや幼児対象の工作、映画を実施。施設内外の美化に努め、気持ち良く利用出来る様清掃の励行、挨拶・声かけに努めた。利用者の要望には早急に対応しつつ、貸館の使用時は平等公平になる様に心がけた。地域住民参加の行事を含め障害者の利用時には快適な時間となるよう手助け対応をした。	運営協議会やこども会議等を実施しサービスの提供を行っていた。また、ホームページの内容をより充実させていたことは評価できる。障害児については、障害児相談員を雇用し、必要に応じ職員の相談を行い障害児の対応を充実させていたことは評価できる。 乳幼児を対象とした広報や行事の実施に努めている。
事業の実施に関するこ と	こども文化センター来館者とわくわく利用児童対象の映画会・スポーツ大会を実施し交流を図った。こども会議やアンケート調査をしながら要望に即した行事を実施。地域住民参加のフラワーアレンジメントやパネルシアター・パントマイムを上演した。P.T.A. 町会主催行事にも物品貸し出しでサポートした。また、連携との連携でこども文化センター祭り・新春映画会・こども文化センター感謝祭を実施した。	運営協議会等との連携により地域のニーズに合った行事を実施したことは評価できる。また、地域行事にも物品貸し出しなどで協力し連携を図っていた。また、児童の施設間交流に努めていたことは評価できる。今後も、ボランティアの活用に努めること。
個人情報の取扱に関するこ と	こども文化センター：こども文化センターの入館表、パソコン申込書、利用団体貸館申込書、利用登録申請書 わくわくプラザ：わくわくプラザ申込書、子育て支援申込書、スポーツ保険加入届、おやつ申込書の管理を適正に行つた。	個人情報の取扱については、概ね問題なく処理されている。
施設の安全管理に関するこ と	こども文化センター：開館と同時に内外の清掃、点検、美化に努めている。夜間はパートナーが管理、清掃と共に中高生の見守り声かけをしている。警備会社への委託で、夜間管理をしています。 わくわくプラザ：児童利用前にスタッフが現場に入り、全員で清掃、見回っています。学校遊具は使用前に安全点検しています。	毎日の清掃や始業時の点検を行い、安全性に努めている。
(2) 利用状況		
①こども文化センター	延べ利用者数 18,440人 延べ団体利用数 4,643団体 (主な行事等) ピアノ こ文まつり (特色のある行事) こ文感謝祭	地域の状況に合わせた特色ある行事の実施している。また、地域との連携を図り行事を実施していることは評価できる。行事の実施に当たっては、具体的な数値目標等を設定し客観的な達成状況が分かるように心がけること。

②わくわくプラザ	1 玉川小学校わくわくプラザ 登録者数 268人 延べ利用者数 17,976人 (主な行事等) ・ジエンガ ・ビデオシアター (特色のある行事) ・マジックショー	行事については、順調に実施されている。利用状況は具体的な数値目標等を設定し客観的な達成状況が分かるように心がけること。																																	
	2 下沼部小学校わくわくプラザ 登録者数 140人 延べ利用者数 8,684人 (主な行事等) ・本読み ・マジックショー (特色のある行事) ・ヤゴレスキー																																		
評価項目	平成19年度管理運営の状況	評価及び指導																																	
(3) 収支状況																																			
① 収支状況	<table> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th>(単位：円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td>指定管理料</td> <td>46,834,096</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>人件費</td> <td>37,307,428</td> </tr> <tr> <td></td> <td>管理費</td> <td>2,341,219</td> </tr> <tr> <td></td> <td>事務経費</td> <td>1,937,847</td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他経費</td> <td>1,436,042</td> </tr> <tr> <td></td> <td>青少年事業資産取得支出</td> <td>909,090</td> </tr> <tr> <td></td> <td>減価償却引当資産取得支出</td> <td>40,492</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第1回精算に伴う返納金</td> <td>636,363</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td>44,608,481</td> </tr> <tr> <td></td> <td>差引</td> <td>2,225,615</td> </tr> </tbody> </table>			(単位：円)	収入	指定管理料	46,834,096	支出	人件費	37,307,428		管理費	2,341,219		事務経費	1,937,847		その他経費	1,436,042		青少年事業資産取得支出	909,090		減価償却引当資産取得支出	40,492		第1回精算に伴う返納金	636,363		合計	44,608,481		差引	2,225,615	事業実施後指定管理料の残額を戻入しており指定管理料の範囲内で事業の実施を行っている。今後は収支のバランスを考慮しつつ、事業をより充実させるため適切な経費の執行を図ること。
		(単位：円)																																	
収入	指定管理料	46,834,096																																	
支出	人件費	37,307,428																																	
	管理費	2,341,219																																	
	事務経費	1,937,847																																	
	その他経費	1,436,042																																	
	青少年事業資産取得支出	909,090																																	
	減価償却引当資産取得支出	40,492																																	
	第1回精算に伴う返納金	636,363																																	
	合計	44,608,481																																	
	差引	2,225,615																																	

3 管理運営（事業執行）に対する全体的な評価

指定管理以前から委託事業者としてこども文化センター及びわくわくプラザの管理運営に携わっていた経験を生かし、また、全市58施設の内55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、施設ごとに偏りの無いサービスの提供を行っており、区ごとのこども文化センター合同行事の実施や全市規模の行事の実施を行っていた。行事の実施についても施設ごとに特色ある行事を実施していることは評価できる。また、各施設を統括する本部職員を配置することにより、他のこども文化センターと連携を図り管理運営を行っていたことは評価できる。

55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、安定した経営を行っていたことは評価できる。

4 来年度の管理運営（事業執行）に対する指導事項等

次年度も引き続き55施設の指定管理者として安定した経営、他施設と連携した行事等スケールメリットを生かした管理運営を実施すること。事業の実施に当たっては運営協議会を始め地域と連携し、より一層地域の状況に合わせた特色ある行事の実施等を行うこと、また目標利用者数を設定する等具体的な数値目標を設定し客観的に事業の達成状況が分かるようにすること。